

平成25年5月14日
中部地方整備局

あいちまちづくりシンポジウムを開催いたします

愛知「まちづくり月間」実行委員会では、平成25年度「まちづくり月間」(※)の啓発活動の一環として、「歩いて暮らせるまちづくり」をテーマに、身近なまちづくりへの理解と協力を深めていただくようシンポジウムを開催します。

- 1 名称 あいちまちづくりシンポジウム
- 2 日時 平成25年6月6日(木) 午後1時30分から午後4時45分
- 3 場所 名古屋市中区役所ホール(名古屋市中区栄四丁目1番8号)
- 4 対象者 一般の方々及び行政職員(定員500名)
- 5 内容 講演①
「コンパクトなまちづくりの考え方と方法」
講師 ^{かいどう}海道 ^{きよのぶ}清信 氏(名城大学教授)
講演②
「にぎわいを取り戻せ コンパクトシティの実現」
講師 ^{もたに}藻谷 ^{こうすけ}浩介 氏((株)日本総合研究所 調査部 主席研究員)
- 6 主催 愛知「まちづくり月間」実行委員会
- 7 協賛 (公財)愛知県都市整備協会、愛知県住宅供給公社
- 8 入場料 無料(事前申込は不要です)
- 9 備考 本シンポジウムは、愛知「まちづくり月間」実行委員会(構成団体は、国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、独立行政法人都市再生機構中部支社)において実施し、事務局は愛知県建設部建築担当局住宅計画課が担当しています。

(※)「まちづくり月間」とは、住民の積極的な参画のもとに、創意と工夫を活かしたまちづくりを推進することを目的として、国土交通省が昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定めているもので、期間中にはまちづくりについて住民の理解と協力を得るための様々な啓発活動を幅広く実施しているものです。

問合せ先

国土交通省中部地方整備局 建政部 計画管理課 課長 堀口 岳史 課長補佐 布施 伸夫 ダイヤル 052-953-8571
--

あいちまちづくり シンポジウム

入場
無料

歩いて暮らせる
まちづくり

講演①

『コンパクトなまちづくりの考え方と方法』

名城大学教授 海道 清信 氏

講演②

『にぎわいを取り戻せ コンパクトシティの実現』

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

藻谷 浩介 氏

平成 25 年

6 / 6

(木曜日)

PM1:30~PM4:45(開場 PM1:00)

中区役所ホール

(名古屋市営地下鉄「栄」駅下車徒歩2分)

主催/愛知「まちづくり月間」実行委員会

協賛/公益財団法人愛知県都市整備協会、愛知県住宅供給公社

問い合わせ先/愛知「まちづくり月間」実行委員会

(構成団体:国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、独立行政法人都市再生機構中部支社)

事務局 愛知県建設部建築担当局住宅計画課(市街地整備グループ) TEL052-954-6569

あいまちづくり シンポジウム

平成 25 年 6 月 6 日 (木曜日)

PM1:30~PM4:45(開場 PM1:00)

中区役所ホール

(名古屋市営地下鉄「栄」駅下車徒歩2分)

近年、少子高齢化社会の到来や都市の空洞化による中心市街地の衰退などが社会問題となっています。今後、地域の工夫により生活の諸機能がコンパクトにまとまった暮らしやすいまちづくりを推進することが重要となってきています。また、コンパクトな街づくりの考え方は、低炭素社会の推進や東北の復興まちづくりなどでも重要なキーワードとなっています。

このような背景から、身近な場所で充実した生活を可能にし、高齢者も安心してやすらぎのある暮らしができるまちづくりに取り組むことを啓発するため、「歩いて暮らせるまちづくり」をテーマとし、まちづくりシンポジウムを開催いたします。

至
名古屋駅



PM1:30 開会 (開場 PM1:00)

PM1:35~PM3:05 講演①『コンパクトなまちづくりの考え方と方法』

名城大学教授
かいどう きよのぶ
海道 清信 氏



◎略 歴 (現職まで)
1948年 石川県金沢市生まれ
1970年 京都大学工学部建築学科卒業
1975年 京都大学大学院建築学専攻博士課程単位取得
1975年 地域振興整備公団入社
1995年 同公団退職
1995年 名城大学都市情報学部都市情報学科助教授
2002年 同学部教授、現在に至る
2002年 4月より1年間、英国・オックスフォード・ブルックス大学OCSD客員研究員
京都大学大学院工学研究科博士課程を修了後、地域振興整備公団に入団、地方都市におけるニュータウンや工業団地などの開発に従事する。20年間の公団勤務を経て、名城大学都市情報学部助教授に就任し、2002年4月より現職。2002年4月から1年間オックスフォード・ブルックス大学で、『コンパクトシティ』3部作の編著者である M.Jenks 教授の支援のもと英国の都市再生政策やいろいろな都市を研究。

2001年に『コンパクトシティー持続可能な社会の都市像を求めて』、2007年に『コンパクトシティの計画とデザイン』を出版。専門は、都市計画、建築計画。近年は都市の形態論、特にコンパクトシティの考え方と政策と住民参加のまちづくりをテーマに研究。

◎主な著書
『地域共生のまちづくり (共著)』
(学芸出版社、1998年)
『コンパクトシティー持続可能な社会の都市像を求めて』
(学芸出版社、2001年)
2002年・日本不動産学会著作賞
『創造都市への展望—都市の文化政策とまちづくり』
(共著、学芸出版社、2007年)
『西山卯三の住宅・都市論』
(共著、日本経済評論社、2007年)
『コンパクトシティの計画とデザイン』
(学芸出版社、2007年)
2009年・国際交通安全学会著作賞

PM3:05~PM3:15 休憩 (10分間)

PM3:15~PM4:45 講演②『にぎわいを取り戻せ コンパクトシティの実現』

(株)日本総合研究所
調査部 主席研究員
もたに こうすけ
藻谷 浩介 氏



◎略 歴 (現職まで)
1964年 山口県周南市(旧徳山市)生まれ
1988年 東京大学法学部私法コース卒業
1988年 日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行
1994年 米国 NY 市 コロンビア大学経営大学院卒業
(経営学修士 (MBA))
1994年 (財)日本経済研究所調査局 研究員
1999年 日本政策投資銀行 地域企画部 調査役
2002年 NPO 法人 ComPus
地域経営支援ネットワーク理事
2006年 NPO 法人 ComPus
地域経営支援ネットワーク理事長 (現職)
2007年 日本政策投資銀行 地域振興部 参事役
2009年 DBJツカガホ-ル(株)シアドバザ-
兼 IE Singapore (ツカガホ-ル政府国際企業庁) パートナ-
2010年 (株)日本政策投資銀行 地域企画部 参事役
2012年 (株)日本政策投資銀行 特任顧問 (非常勤・現職)
2012年 (株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

平成合併前 3,200 市町村の 99.9%、海外 59 ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東大法学部卒業、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学留学、日本経済研究所出向などを経ながら、2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。公職やテレビ出演多数。近著「デフレの正体」(角川書店)はベストセラーとなった。

◎主な著書
『海外の中心市街地活性化』
(編著、日本貿易振興会、2000年)
『自立する地域』(一部執筆分担、ぎょうせい、2000年)
『中心市街地活性化のポイント』
(編著、ぎょうせい、2001年)
『実測！ニッポンの地域力』(日本経済新聞出版 2007年)
『デフレの正体』(角川書店、2010年)
『藻谷浩介さん、経済成長がなければ僕たちは幸せになれないのでしょうか?』(共著、学芸出版社、2012年)

PM4:45 閉会